

2013年7月

ウエスト歯科新聞

歯周病になると寿命が縮む？

日本人成人の80%以上がかかっている歯周病……。かなり重症になるまで自覚症状がないのも、歯周病の怖い点ですが、歯周病は実はお口の中だけの問題ではありません。

歯周病にかかっている人は、そうでない人に比べて

脳梗塞 2倍
心臓疾患 2倍(心内膜炎・心筋梗塞)
誤嚥性肺炎 4倍
糖尿病 3倍
低体重児出産 7倍

の発病リスクになります。

お口の中の歯周病菌は、血液にのって全身に巡ります。血管の中に歯周病菌が流れていると、血管は詰まりやすくなり動脈硬化を起こします。動脈硬化が起こると、血圧は上がり、血栓ができるようになって、心筋梗塞や脳梗塞の原因となります。

また、歯周病による慢性炎症が長く続くと、インシュリンが作り続けられることによって糖尿病が発症します。

歯周病は、お口の中だけでなく全身と関係しています。「痛くないから」と放置すると、命まで縮めることになりかねません。定期的に、歯科医院でプロフェッショナルケアを受けて、歯周病を予防しましょう！

★お盆も通常通り診療致します

診療時間

月火木 10:00～21:00

金土日 10:00～14:00

休診日：水曜・祝日

昼休み 14:00～15:30



ウエストデンタルクリニック

〒161-0031 新宿区西落合3-1-16 メトロハイツ西落合102

大江戸線 落合南長崎駅A1出口目の前

電話03-5982-6771 FAX03-5982-6774

<http://www.west-dental.com>

日曜も午後2時まで診療！

患者さんからのご質問にお答えします！

Q1.奥歯を1本抜いたけど、特に不自由は感じていません。
歯をいれないと何か問題がありますか？
あります！

例えば、下の奥歯を1本抜いてそのままにしていると、抜いた歯とかみ合っていた上の歯が伸びてきてしまいます。

↓下の奥歯を抜いてそのままにしていた方のレントゲン写真。上の奥歯が飛び出てきているのがわかります



歯は1本だけで存在しているわけではありません。上下左右の歯が接触することで、正しい位置を保っています。

噛みあう歯がないと、歯は何か当たりたくてどんどん伸びてきてしまいます。そうすると、本来歯茎に隠れて見えないはずの歯根が露出してきます。歯根はやわらかいセメント質という物質でできているので、エナメル質に覆われている歯冠部より虫歯になりやすいです。

↓：歯が伸びてきてしまって、根の部分が虫歯になり折れてしまったケース
歯冠部は問題ないのですが、肝心の根っこがダメになると、歯は抜かざるをえません。

これは、下の奥歯を抜いた後、放置してしまったために、上の奥歯まで失うことになってしまった残念なケースです。



噛むことに不自由は感じていなくても、このように後々他の歯にまで被害が及ぶことがあるのです。

抜いた後の選択肢としては、
①取り外し式の入れ歯
②ブリッジ
③インプラント
④ウエルデンツ
など様々な方法があります。

お気軽にご相談下さい。

このPDFはpdfFactory試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/pdfact

今月のよくできました！



笑顔にいつも癒されます^^



抜いた後の選択肢のひとつ：ウエルデンツ
取り外し式の装置ですが、目立たず違和感も少ないです。
両隣の歯を削ることもなく、抜けた歯を補うことができます。

2012年7月